

Material Safety Data Sheet

製造者情報

会 社 菅原冷蔵 株式会社
住 所 山形県酒田市北浜町 2 番 82 号
電話番号 0234-35-2068 FAX 0234-35-2069
作 成 2014 年 1 月 21 日



製品情報

品 名：保冷剤 クールアイス
重 量：各製品の仕様による
サイズ：各製品の仕様による
梱 包：段ボール

内容物の特定

フィルム構成	ONY15/D/LLDPE50-70 μm		
ゲル組成物	物質の特定	500 g	構成比率
高吸水性ポリマー	架橋ポリアクリル酸中和物 (Na塩)	5.00 g	1.00%
防 腐 剤	デヒドロ酢酸ナトリウム	0.10 g	0.02%
形状安定剤	尿 素	5.00 g	1.00%
水 分	水道水	489.90 g	97.98%

内容物の安全データ (各原料の希釈度で換算した)

- ・フィルム 材質試験 (カドミウム・鉛) 適
溶出試験 (重金属・過マンガン酸カリウム) 適
 - ・ポリアクリル酸 LD50 (経口マウス) 200,000mg/kg
有害性情報 危険性無
 - ・デヒドロ酢酸ナトリウム LD50 (経口ラット) 285,000mg/kg
(食品添加物) 有害性情報 危険性無
 - ・尿 素 LD50 (経口ラット) 847,100mg/kg
(食品添加物) 有害性情報 危険性無
- * LD50 とは体重当たりの 50% 致死量で、急性毒性の一般的な単位です
* 有害性情報とは発ガン性・皮膚刺激性・慢性毒性等の有無です

危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 特になし。
有害性 : なし。
環境影響 : なし。

応急処置

目に入った場合 : 通常の異物が入った場合と同一処置。
水でよく洗い、異常のある場合は医者診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 特に応急処置不要
吸入した場合 :
飲み込んだ場合 :

火災時の処置

消火方法 : 一般的消火方法
消火剤 : 水、炭酸ガス、粉末等 一般消火剤
呼吸用保護具 : 自給式の呼吸装置等の装備が望ましい。
漏出時の措置 漏出性あり : 掻き集めて廃棄

取扱い及び保管上の注意

取扱い : ケースは重量物のために落下に注意。
保管 : 直射日光を避け室内で保管、品質保持期間は出荷後約 1 年間。
凍結したものを常温に放置すると、結露の水分からカビ発生の恐れ。

暴露防止措置

管理濃度 :
許容濃度
日本産業衛生学会 (年度版) :
ACGIH (年度版) :
設備対策 :
保護具 呼吸用保護具 : 不要
保護眼鏡 : 不要。
保護手袋 : 不要。
保護衣 : 不要。

物理 / 化学的性質

外観等 : ゲル状個体
沸点 : 100 融点 : 0 初留点 : 溶解度 水 : 不溶 % ()
蒸気圧 : Pa () 比重又は嵩比重 : 1 (20) 揮発性 : なし その他 :

危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:	
爆発限界	上限 :	下限 :
可燃性	:	あり。着火源があれば燃える。
発火性(自然発火性、水との反応性)	:	なし
酸化性	:	なし
自己反応性・爆発性	:	なし
粉塵爆発性	:	なし
安定性・反応性	:	なし
その他	:	

有害性情報(人についての症例、疫学的情報含む)

皮膚腐食性	:	情報が見当たらない
刺激性(皮膚、眼)	:	情報が見当たらない
感作性	:	情報が見当たらない
急性毒性(LD50)	:	1枚目に記載
亜急性毒性	:	情報が見当たらない
慢性毒性	:	情報が見当たらない
ガン原性	:	情報が見当たらない
変異原性(微生物、染色体異常)	:	情報が見当たらない
生殖毒性	:	情報が見当たらない
催奇形性	:	情報が見当たらない
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	:	

環境影響情報	分解性 :	情報が見当たらない
	蓄積性 :	情報が見当たらない
	魚毒性 :	情報が見当たらない
	その他 :	

廃棄上の注意

廃棄については各自治体の指示に従う事

焼却 : 「大気汚染防止法」等に適合した焼却設備を用いて焼却する。

埋立 : 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の処理業者にて処理

適用法令

容器包装リサイクル法 : 適用されず(除外品目として明示されています)

その他

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 注意事項は通常的な取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いの場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上お取扱い願います。
- ・ 本製品安全データシートは、将来追加データが得られた時点で逐次改訂発行していくものとします。
- ・ 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。